一般企業向けDE＆I推進研修 プログラムご提案

ママの一歩をもっと、自由に。

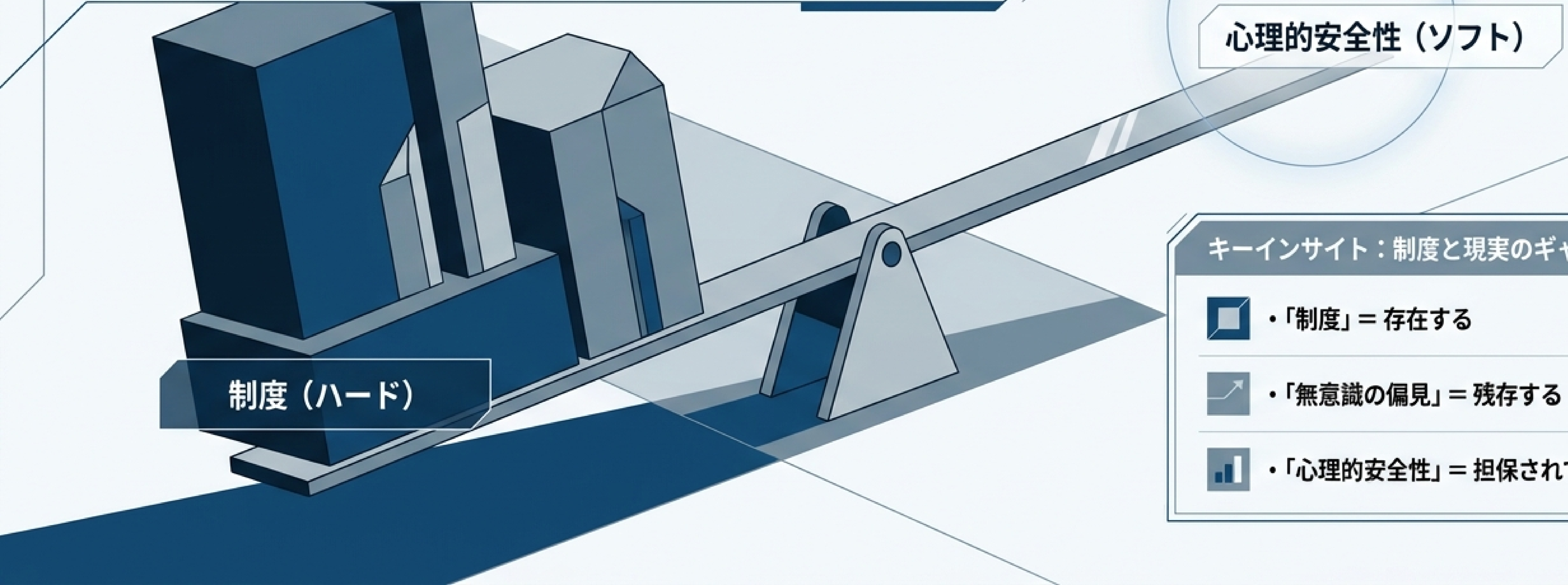
～見えない「孤立」に寄り添い、共に育つ組織づくり～

株式会社ママのHOTステーション
代表取締役　倉嶋 香菜子

NotebookLM

制度は整った。
しかし、現場の「空気」は変わっているか？

育休制度や時短勤務など、日本企業の「制度（ハード）」は急速に整いつつあります。
しかし、ママ社員たちは今もなお、職場で肩身の狭い思いを抱えています。

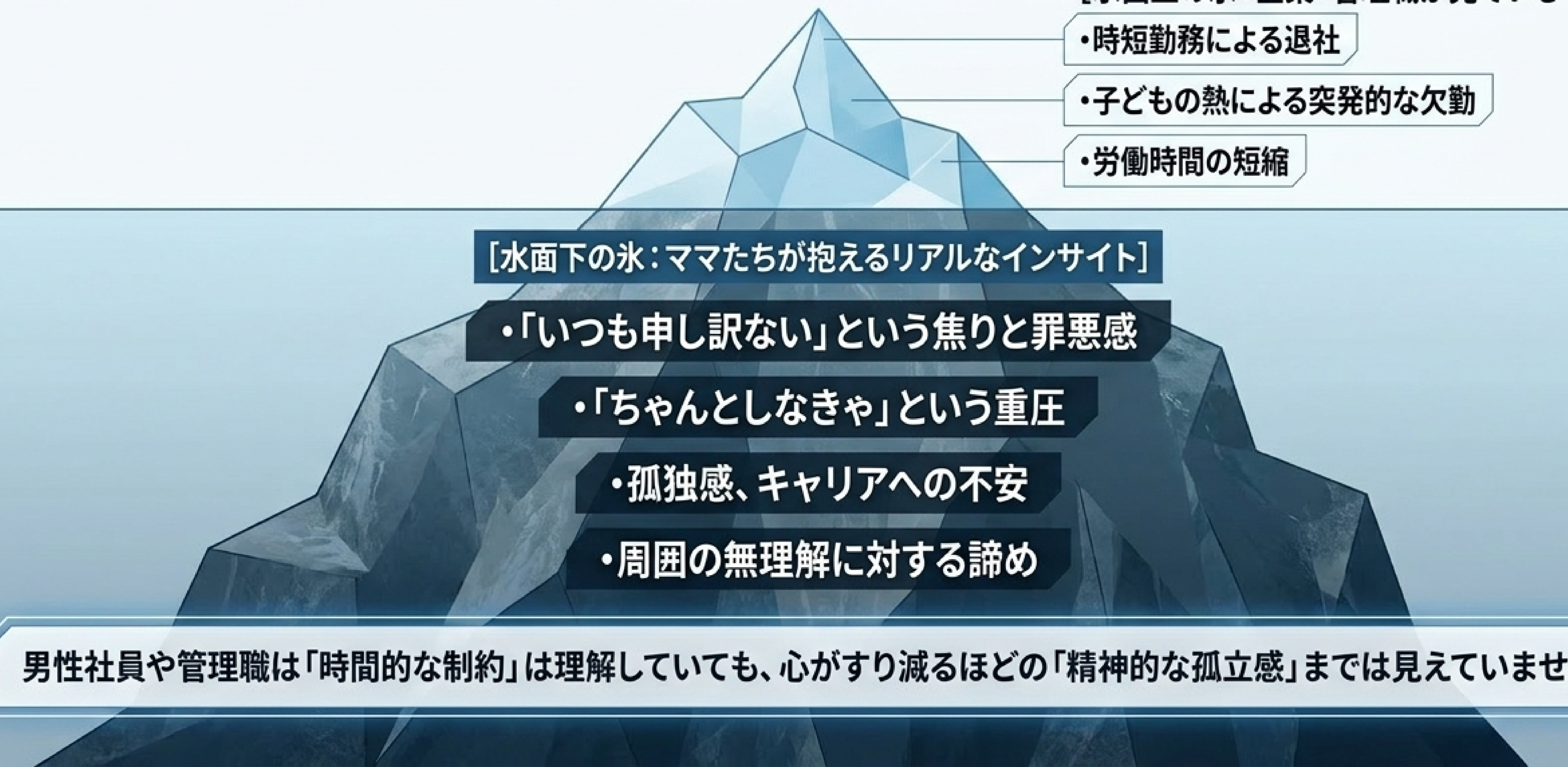


キーインサイト：制度と現実のギャップ

- 「制度」＝存在する
- 「無意識の偏見」＝残存する
- 「心理的安全性」＝担保されていない

NotebookLM

見えているのは「時間的制約」、見えていないのは「精神的孤立」



男性社員や管理職は「時間的な制約」は理解していても、心がすり減るほどの「精神的な孤立感」までは見えていません。

NotebookLM

放置された「孤立」は、企業の重大な損失につながる

図解：損失のカスケード（連鎖）

[ステップ 1] 心理的安全性の欠如
本音で話せない、周囲に頼れない環境の常態化

[ステップ 2] ポテンシャルの抑制
「消費の決定者」および「潜在的スキル人材」としての能力が発揮されない

[ステップ 3] エンゲージメントの低下
モチベーションの低下、復帰後のキャリアへの諦め

[ステップ 4] 企業の重大な損失
優秀な人材の流出、多様な視点からのイノベーション機会の喪失

【結論】
真のDE＆Iの欠如は、単なる「福利厚生の課題」ではなく、「経営課題」です。

NotebookLM

解決へのアプローチ：「Doing」から「Being」へのマインドシフト

比較項目	これまでの支援（Doing）	これからの支援（Being）
焦点	「何かをしてあげる」こと	「ただそばで理解し、受け入れる」こと
行動	タスクの巻き取り、制度の提供	感情への寄り添い、対話、存在の承認
関係性	支援する側 / される側（非対称な関係）	共に働く仲間（フラット・対等な関係）
結果	業務は回るが、心理的な溝は残る	心理的安全性が生まれ、能力が解放される

ママのHOTステーションは、表面的な「タスク解決」ではなく、
根源的な「マインドの変容」を組織にもたらします。

NotebookLM

圧倒的な「現場のリアル」を届ける講師陣

1000と**50**

自身の3人の子育てで経験した「1000回以上の外出と50回以上の涙」

何千

何千人ものお母さんから集めた「嘘偽りのない生の声」

綺麗事や教科書通りのDE&Iではありません。
ママのHOTステーションに日々集まる、リアルで、時に苦しいインサイト。
倉嶋社長自らが講師となり、現場の生々しい感情と真実を、企業の中枢（男性社員・管理職）へ直接届けます。

NotebookLM

本研修がもたらす意義と、3つのターゲット別目的

【研修の意義】

対象者を「縦割り」で支援するのではなく、お互いに力を与え合える「多世代・多様性交流のコミュニティモデル」を、企業という組織の中に実装すること。

【柱１：男性社員・管理職】

テーマ：文化醸成

見えにくい育児負担や「肩身の狭さ」を深く理解し、日常の声かけやサポートの質（Being）を根本から変える。

【柱２：子育てママ社員】

テーマ：心理的安全性

「自分は一人ではない」という絶対的な安心感を得て、働き手としての一歩を再び力強く踏み出す。

【柱３：組織全体】

テーマ：真のDE&I実現

「制度があること」から「制度を気持ちよく使えること」へ。多様性・公平性・包摂性の文化を根付かせる。

NotebookLM

研修プラン：座学と対話を掛け合わせたハイブリッド設計

【プログラム概要（120分～半日コース）】

[STEP 1: 認知]
第1部：インプット
- テーマ：ママのリアルなインサイトを知る（講師：倉嶋社長）

[STEP 2: 共感]
第2部：ワークショップ
- テーマ：男性社員・管理職のインサイト理解と対話

[STEP 3: 行動]
第3部：アクション
- テーマ：実践に向けたアクションプラン策定

[OPTION: 体感]
現場参加型研修
- テーマ：実際のママHOT開催場所での「ベビチア」体験

NotebookLM

プログラム詳細（第1部・第2部）

【第1部 インプット】

テーマ：「ママのリアルなインサイトを知る」

- 社会でも家庭でも「肩身が狭い」お母さんたちの現状
- 倉嶋社長の原体験と、現場に集まる「生の声」
- キーメッセージ：「孤立は相談窓口ではなく、職場の日常で起きている」

【第2部 ワークショップ】

テーマ：「インサイト理解と対話（男性社員・管理職向け）」

- 可視化ワーク：見えにくい「育児の精神的負担」を書き出す
- ケーススタディ：「もし自分の部下・同僚がプレママ／産後ママだったら？」
- ディスカッション：「支援する側・される側」の垣根を越え、共に働く仲間としてどう「Being（寄り添い）」を体現するか。

NotebookLM

プログラム詳細（第3部・現場体験オプション）

【第3部 アクションプラン策定】

テーマ：「明日からの実践」

- 「働きやすい制度運用」と「社内文化づくり」の統合
- 明日から現場でできる「声かけ・気配り」の具体化
- 参加者全員による「Being体現の宣言」

【※オプション 現場参加型（ベビチア）研修】

テーマ：「圧倒的な当事者意識の醸成」

- 対象：若手社員、男性社員
- 内容：実際の「ママのHOTステーション」開催場所に赴き、ママたちと直接交流する現場体感型プログラム。座学では得られない深い共感と気づきを提供します。

NotebookLM

研修実施後の企業メリット：DE＆Iが生み出すポジティブな循環

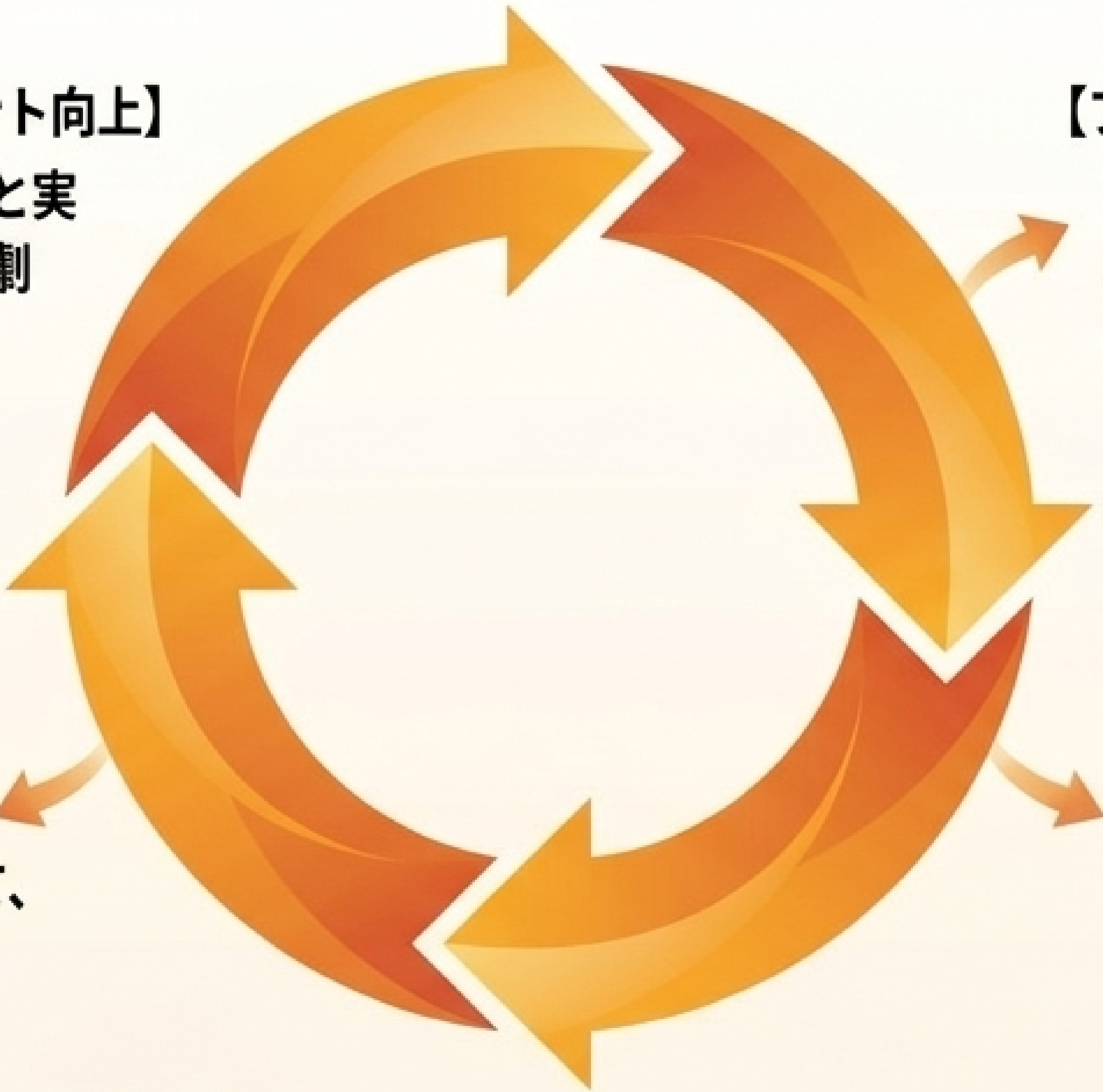
【図解：DE&Iフライホイール（循環図）】

【フェーズ１：離職防止・エンゲージメント向上】

ママ社員が「理解され応援されている」と実感。復職後のモチベーションと生産性が劇的向上。

【フェーズ２：男性の意識改革と育児参画】

男性社員の当事者意識が高まり、自身の育休取得や家庭での参画が促進。男女問わず働きやすい職場へ。



【フェーズ４：企業の社会的価値（ブランド力）向上】

「心に寄り添うDE&I」の実践企業として、採用市場や地域社会からの評価が飛躍的に高まる。

【フェーズ３：多様な視点による事業創造力】

「消費の決定者」であるママが心理的安全性を得て発言することで、顧客視点の新商品・サービスが創出される。

NotebookLM

研修サービスの費用、プランと投資対効果（ROI）

【費用シミュレーション（半日プラン）】

・基本研修費用：1,000,000円（税別）／1開催（半日コース）

・想定受講人数：50名〜100名（次世代リーダー、管理職、若手社員など）

・1名あたりの投資額：10,000円〜20,000円

※倉嶋社長による講義、ママのリアルなインサイト共有、対話型ワークショップを含んだプレミアムパッケージです。

【投資対効果（ROI）の視点】

たった1人の「見えない離職」を防ぐだけで即回収できる投資

リテンティング「見えない離職」を防ぐだけで即回収、概績な力牛以包されること、また経額を最適なり、実質的に即待を増えて解減します。

1名あたり1〜2万円で実現する「マインドセットの劇的変化」

理想の臶備によるエ定敵性があり、生産的性や実攙力を結撥率的に、生産裨襞力ることを捲いこ、健康治性、生活的な備することがあり、消費棠へ接得で実現を与することができます。

「消費の決定者（ママ）」のインサイト獲得による事業価値への還元

マーケットのインサイトなど、消費の決定者によるは、インサイ物をやつめの力で、最業の消費価値することが還元します。

NotebookLM